

五剣山

高松市の牟礼町と庵治町の上に位置する五剣山。山名の由来は、その特徴的な山頂が、かつては 5 本の剣に見えたことによる。1707 年の地震で峰の一つが崩れ、現在の形になったという。五剣山は標高 375 メートルで、登山道とケーブルカーで登ることができ、どちらも山のほぼ中央にある八栗寺が終点となっている。境内からは瀬戸内海が一望できる。屋島の頂上からも五剣山の峰がよく見える。

山の最も有名な聖地は八栗寺である。僧侶の空海（774-835）が 829 年に創建したとされるこの真言宗の寺院は、有名な四国八十八ヶ所お遍路の 85 番目の札所だ。この寺はよく知られており、地元の人々はこの山を「八栗山」と呼ぶことが多い。

庵治石と呼ばれる五剣山の花崗岩は非常に珍重されており、庵治では数百年前から切り出されている。その耐久性と繊細な石目から、彫刻家や建築家に人気がある。